



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社
コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6870-6008

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	62,266	1.3	2,624	37.2	3,149	35.1	1,987	37.5
2023年3月期第1四半期	61,463	9.8	4,180	54.0	4,851	56.5	3,177	52.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,766百万円 (26.6%) 2023年3月期第1四半期 2,408百万円 (17.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	44.95	44.69
2023年3月期第1四半期	71.87	71.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	217,484	123,706	56.6	2,784.15
2023年3月期	211,300	122,567	57.7	2,760.04

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 123,089百万円 2023年3月期 122,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		15.00		15.00	30.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	126,356	7.1	4,139	2.4	4,480	10.6	2,854	9.3	64.55
通期	259,891	8.6	8,815	5.9	9,535	3.2	5,643	4.6	127.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	47,911,023 株	2023年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,700,367 株	2023年3月期	3,700,307 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	44,210,678 株	2023年3月期1Q	44,210,968 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、経済活動に対する制約が解消されたことで行楽需要の復活に伴う宿泊・飲食関連の需要が大きく改善し、個人消費の持ち直しの動きが顕著に見られました。また、経済活動の正常化に伴い大手企業を中心とした設備投資意欲が高まり、人材採用活動も活発化しました。その一方で、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、世界的な金融引き締めによる為替変動などの景気影響への下振れリスク、建設資材価格の高騰や非製造業における人手不足の深刻化により、計画通りの実行が不透明な状況となっています。

スポーツ用品販売業界におきましては、コロナ禍で市場拡大してきたゴルフやアウトドアレジャーなどの屋外スポーツ関連需要の急激な盛り上がりは沈静化しましたが、部活動を始めとする学校活動やスポーツイベントの正常化による需要回復に加えて、アフターコロナへの移行が進む中で、シューズ、バッグなどのライフスタイル商品の需要拡大が見られました。しかし、仕入原価の上昇がある中、生活必需品の価格上昇による消費者の生活防衛意識の高まりにより、消費行動における価格競争が持続しています。

この様な状況の中、当社グループは、コロナ禍を経たマーケットの変化に伴うカテゴリー毎の需要変化に対応しつつ、急回復が顕著な部活動やインバウンド需要の獲得などに対応しました。また、市場シェアの拡大に向けた既存店の改装や新規出店等の設備投資と、人件費や店舗関連費用、安定成長を続けるEC事業関連コスト、及びIT開発などの成長に必要な販売管理費の単価上昇を接客サービスの強化による客単価の引上げで吸収することに注力しました。更には中期的な視点での低効率店舗の閉鎖とコロナ禍のサプライチェーン混乱の影響が残る一部商品の処分に取り組むことで、短期的な課題の解消にも努めております。しかしながら、長期にわたる行動制限の解除に伴う旅行などのコト消費がモノ消費に優先されたことで、前年対比では、売上が限定的な伸びに留まる一方で、諸般のコスト上昇の中、総額でのコストコントロールを実施しましたが、費用は増加に転じました。

新規出店及び閉店につきましては、当第1四半期連結累計期間では20店舗を出店し12店舗を閉店しました。これらにより、当第1四半期末におけるグループの総店舗数は891店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて584坪増加し199,322坪となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高622億66百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益26億24百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益31億49百万円（前年同期比35.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億87百万円（前年同期比37.5%減）となりました。

〔主な商品部門別の営業概況〕

<ゴルフ部門>

ゴルフ部門では、ビギナー層を中心とした市場拡大に一巡の兆しが見られ、客数が減少し低調に推移しました。以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、前年同期比4.6%の減少となりました。

<一般競技スポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツ・シューズ部門では、部活動やスポーツイベントの正常化により、一般競技スポーツ需要も回復しました。また、人流の回復によるタウンシューズやスポーツサンダルが好調に推移し、前年を上回りました。以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比10.9%の増加となりました。

<スポーツアパレル部門>

スポーツアパレル部門では、一般競技スポーツの需要回復により堅調に推移しました。以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比2.5%の増加となりました。

<アウトドア・その他部門>

アウトドア・その他部門では、トレッキングは前年に引き続き好調に推移しました。一方で、前年好調に推移したマリンレジャーは天候に恵まれず、またキャンプ市場も一巡の兆しを見せており、いずれも低調に推移しました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比1.7%の減少となりました。

（2）財政状態の状況

当第1四半期末の総資産は、新規出店と部活動やインバウンド需要獲得に向けた品揃え強化を実施したことで商品が増加しました。また、既存店の改装投資やシステム投資により固定資産が増加しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ61億84百万円増加し2,174億84百万円となりました。

負債は、品揃え強化の仕入れにより、仕入債務が増加しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ50億45百万円増加し937億78百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11億39百万円増加し1,237億6百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,890	33,032
受取手形及び売掛金	23,414	22,530
営業貸付金	878	874
商品	80,714	84,460
未収還付法人税等	157	554
その他	8,188	8,736
貸倒引当金	△438	△414
流動資産合計	145,805	149,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,445	52,209
減価償却累計額	△38,560	△37,716
建物及び構築物 (純額)	13,885	14,492
土地	13,984	14,010
リース資産	6,091	6,085
減価償却累計額	△1,853	△1,975
リース資産 (純額)	4,238	4,109
建設仮勘定	291	468
その他	22,463	23,531
減価償却累計額	△19,477	△19,821
その他 (純額)	2,985	3,710
有形固定資産合計	35,385	36,790
無形固定資産		
のれん	330	227
ソフトウェア	3,831	4,434
その他	2,622	2,547
無形固定資産合計	6,784	7,209
投資その他の資産		
投資有価証券	953	1,537
長期貸付金	12	10
繰延税金資産	4,574	4,301
差入保証金	1,465	1,459
敷金	14,013	14,087
投資不動産	3,120	3,120
減価償却累計額	△1,289	△1,293
投資不動産 (純額)	1,831	1,827
退職給付に係る資産	103	118
その他	539	577
貸倒引当金	△168	△209
投資その他の資産合計	23,325	23,710
固定資産合計	65,494	67,710
資産合計	211,300	217,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,429	20,322
電子記録債務	29,032	37,892
短期借入金	800	800
1年内返済予定の長期借入金	1,840	1,825
未払法人税等	1,521	975
賞与引当金	1,299	709
役員賞与引当金	15	3
ポイント引当金	78	71
その他	14,160	15,096
流動負債合計	72,177	77,696
固定負債		
長期借入金	4,772	4,335
リース債務	5,222	5,077
退職給付に係る負債	862	852
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,768	4,849
その他	870	907
固定負債合計	16,555	16,081
負債合計	88,732	93,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,119	16,119
利益剰余金	96,499	97,823
自己株式	△6,498	△6,498
株主資本合計	122,056	123,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	234
為替換算調整勘定	197	△110
退職給付に係る調整累計額	△415	△416
その他の包括利益累計額合計	△32	△291
新株予約権	341	347
非支配株主持分	202	270
純資産合計	122,567	123,706
負債純資産合計	211,300	217,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	61,463	62,266
売上原価	37,079	38,173
売上総利益	24,384	24,092
販売費及び一般管理費	20,203	21,468
営業利益	4,180	2,624
営業外収益		
受取利息	30	47
受取配当金	6	7
不動産賃貸料	148	185
為替差益	485	309
業務受託料	71	103
助成金収入	81	—
その他	49	111
営業外収益合計	873	765
営業外費用		
支払利息	25	25
不動産賃貸費用	105	114
業務受託費用	57	76
その他	13	23
営業外費用合計	202	240
経常利益	4,851	3,149
特別利益		
固定資産売却益	1	0
新株予約権戻入益	102	—
受取保険金	62	18
特別利益合計	165	18
特別損失		
固定資産除却損	58	9
固定資産売却損	0	0
災害による損失	—	2
特別損失合計	58	11
税金等調整前四半期純利益	4,958	3,155
法人税、住民税及び事業税	1,132	877
法人税等調整額	616	252
法人税等合計	1,749	1,130
四半期純利益	3,209	2,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,177	1,987

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,209	2,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	49
為替換算調整勘定	△852	△307
退職給付に係る調整額	17	△0
その他の包括利益合計	△801	△258
四半期包括利益	2,408	1,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,376	1,699
非支配株主に係る四半期包括利益	31	67

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。